

全日本 BP 大会レポート

2015 年 10 月 31 - 11 月 1 日

岐阜県美濃加茂市、中央体育館 づらざちゅうたい

写真・報告：IPF 国際審判員・JPA 常務理事

Team Ponze 代表 **物江 毅**

紅葉盛りの日本列島、燃える秋の景観は本邦に住んでいる事の幸せを感じさせてくれる。

人間 60 歳半ばにさしかかると感傷的になり、移ろいゆく四季をこの先何年見る事が出来るのだろうかなどと思ったりする事が多くなった。

例年よりほぼ一か月早く、本年度の全日本 BP 大会は、10/31 - 11/1 の両日、岐阜県美濃加茂市で開催された。全国から参集した 237 名のベンチフリークが大熱戦を繰り広げた。

大会パンフレット表紙及び試合場バックボードに記載されていた「天下分け目の闘い 岐阜で再び」のキャッチコピーが言い得ているように、世界大会一般の部現役チャンプ 4 名及び数えきれないマスターズ世界チャンプがエントリーした今大会は、パワーリフティング競技ベンチプレスに於いて世界の冠たる日本の総決算の試合で、クラスによっては世界大会をはるかに凌ぐレベルの優勝争いとなった。

10 月 31 日

第一セッション 女子 47kg 級・57kg 級

47kg 級

JR の部で早川琴果選手が 90.5kg の日本新に成功した。早川さんは小さな身体でわかやま国体の際に、一生懸命補助に入っていた姿がとても印象的であった。優勝 & 日本記録達成、本当におめでとう！

一般の部は第一人者・福島友佳子選手が 2 位に 25kg の差をつけ 130kg で優勝。約 10 日後に迫った世界 PL 大会では、是非とも女王に返り咲いていただきたい。2 位は世界マスター BP 大会王者・新井祐子選手で 105kg (M2 優勝)、3 位は M1 とダブルエントリーの宮本智子選手で、第二試技で 92.5kg に成功した。第 4 位は岡本美樹選手 85 kg (M2 で 2 位)、5 位はご主人と二人でエントリーした



天下分け目の戦いにご尽力いただいた久野毅 岐阜県協会理事長

吉岡泰子選手で 60kg という結果であった。

M1 では三試技とも成功した餘語てるみ選手が、92.5kg 同記録体重差で宮本選手を躲し優勝。M2 の 3 位は柴田昌美選手で 60kg であった。

M4 の部には世界マスター BP 大会 3 連覇の大ベテラン奥村正子選手が 45-47.5-50 と三試技とも成功し優勝。日本新記録及び日本最高齢記録を更新した。奥村さんにはテレビ朝日が取材に来ており、近々今大会の試技を含めた奥村さんの特集番組を放送する予定との事であった。「世界マスター BP 大会での当面の目標は、あと 2 勝して 5 回世界チャンプになる事です」と話しておられた。毎回書くことであるが、本当に奥村さんの前向きさには頭が下がる思いである。

57kg 級

JR では櫻由貴選手が 80 kg で優勝。

一般の部はここ数年優勝争い常連の酒巻知子選手と藤原のどか選手の対決となり、ともに二試技成功後 115kg に挑んだ藤原さんが失敗、優勝確定した酒巻さんは 115.5kg に挑んだが失敗、105kg で優勝 (M2 も優勝)。2 位藤原さん 102.5kg、3 位山口彩選手 90kg、4 位ベテラン長谷川真紀選手 87.5kg、5 位 M1 とダブルエントリー長江由美子選手 85kg (M1 で 2 位) という結果となった。

M1 優勝は久しぶりの試合復帰となった伊藤千帆選手 90kg で、第三試技では 121kg の M1 日本記録に挑み見せ場を作ってくれた。3 位は塚本美紀選手で 50kg。

M3 では、本年度世界チャンプ長尾優子選手と昨年度世界チャンプ・故障が回復した中沢久美子選手の対決となった。お互いに 2 試技成功で優勝長尾さん 75kg、2 位中沢さん 62.5kg という結果であった。

第二セッション 女子 52kg 級

SJR 優勝は赤澤恋選手、三試技とも成功 75kg の日本新記録を樹立。人気者の赤澤さんに会場からしきりに「恋 (レン) ちゃん!」という声援がかかっていた。

JR 優勝は南采沙選手で、やはり 103kg の日本記録を樹立。私は本部席で南さんの試技を見ていたが、コーチの八木先生がビデオ撮りで、三試技とも私の隣に来られたので「南さん、あんなに可愛いのに強いですね!」と声をかけると「有難うございます!」という答えが返ってきた。

一般の部では、このクラス国内では敵なし世界チャンプ・白川カオリ選手が貫録の優勝、記録は 122.5kg で第三試技の 135kg は押しきれなかった。白川さんのシングレットはタイタンのブルーでシャツもエクストリームの



女子ベストリフター、47kg 級、福島友佳子 選手

ブルー、余談であるが、我が Team Ponze のチームカラーがブルーで私は全身青づくめで通し、青のロングソックス、青いシューズで試合に臨んだ。世界チャンプに失礼かと思うが、我がチームにスカウトしたいと思わせてくださった。

2 位には久しぶりのフルギア試合復帰の PL 界の元祖アイドル伊賀梓選手が 100kg で入った。試合勘がやや戻っていない印象であったが、可愛らしさは相変わらずであった。3 位にはベテランの寺村美香選手 (M2 とダブルエントリー) が一試技のみ成功であったが、95kg で入った (M2 で 2 位)。

M1 では本年度世界マスター BP 大会で活躍した渡辺礼美選手が 95kg で優勝、2 位は一般とダブルエントリーの磯田あかね選手が 95kg という結果であった。

M2 では手術からわずかな間に試合復帰した増山朱美選手が三試技とも成功し 97.5kg で優勝、2 位は上述の通り寺村さん、3 位はやはり一般とダブルエントリーの田中彰子選手で 80kg という結果であった。田中さんをご自分の試技終了後、毎回の事ながら MC で大活躍しておられた。

M4 では世界マスター BP 大会二連勝の大ベテラン古川芳子選手が 63.5kg の日本新記録を樹立。第一試技 55kg と軽めに入られたのは、「寝違えで首が痛かったから」との事であった。

第三セッション 女子 63kg 級・72kg 級・84kg 級・84kg 超級 63kg 級

一般の部では M3 にして一般の部でも優勝候補の筆頭である大ベテラン古味良子選手に、いずれもストロングラインでギアトレをしているまだ JR の石橋茜選手とフルギア歴わずか 4 か月・驚異の新人田島瞳選手が果敢に挑みとも見ごたえのある試合展開となった。

田島さんは第一試技で公式戦自己新となる 102.5kg に挑み、胸に苦労して付け、プレスもスムーズさをやや欠いたが成功、第二試技では 107.5kg を綺麗に押し切った。外観はおとなしい石橋さんは、本番でしっかり結果を出す選手で 105-112.5 と順調に成功、古味さんも貫録の試技で 112.5-115 に成功。

第三試技で体重差逆転を狙い田島さんは 7.5kg UP の 115kg に挑み、惜しくも押し切れず 3 位が確定。古味さんは勝利を確信したのか日本記録 115.5kg に挑み成功、ところが石橋さんは 117.5kg に挑み見事に成功、全日本 BP 大会初栄冠に輝いた (当然 JR でも優勝)。



女子日本最高齢記録を更新した、奥村選手。その前向き姿勢に敬意を表す。

私は大会前毎週金曜日の午後ストロングラインでギア BP の調整を行っており、いつも瞳さん、茜さんと一緒に練習していた。お二人とも見事に結果を出してくださり、大変に嬉しく思った。日本 BP 界の明日を担うお二人、これからも全日本及び世界の舞台で頑張っていただきたい!!!

JR の部 2 位は相馬由貴選手で 72.5kg であった。

M1 は工藤智恵子選手が 95kg で優勝。決して調子は良くなかったがしっかりと世界マスター BP 大会の出場権をゲットした。

M2 は林和美選手が 90kg で、M3 では上述の通り古味選手が日本新で優勝という結果であった。

72kg 級

一般の部では溝口久美選手が 130kg で優勝はほぼ確定後、第二試技で 140kg、第三試技で 158kg に挑み見せ場を作ってくれた。2 位には世界マスター BP 大会女王の澤千代美選手が 110kg (M3 優勝)、3 位には櫻井美幸選手が 90kg (M1 優勝) で入った。

澤さんは、両肘の治療効果が出て、4 月の世界大会時に比較して、ストロークが伸びたように感じられたが、とても綺麗に肘が伸びたフィニッシュであった。国際大

世界チャンピオン白川選手、ヨシ！とベンチ台に向かう。



会でも、全然問題なく白判定が出る試技に見事に改良されたようだ。

84kg級

一般・M1のダブルエントリーで、照屋利恵選手が130kgで優勝。一般の2位は東前めぐみ選手で90kgであった。

84kg超級

小松麻美選手一人が一般とM1でダブルエントリー、110.5kgのM1日本新記録で優勝。

毎回着実に進歩している小松さん、ついに110kgをオーバーした。世界マスターBP大会でも是非とも頑張っていたきたい！

第四セッション 男子53kg級・59kg級

53kg級

JR&SJRのこのセッション、SJRは田村陽選手が100kgで、JRは森脇滉人選手が120kgでそれぞれ優勝した。

59kg級

SJRは驚異のSJRの一人村田元輝選手が170で優勝、2位は桑田篤史選手で120kg。

JRは竹尾将汰選手が安定した試技で3本とも成功し145kgで優勝。2位は同じく三試技成功の谷澤直紀選手で130kgという結果であった。

M2では国際大会常連の石渡啓之選手が150kgで優勝、2, 3, 4位は127.5kg同記録体重差で橋本雅人選手、亀田司選手、椎木智良選手、5位は飯塚進市選手120kgという結果であった。

M3は二人出場で、伊差川浩之選手が150kgで優勝、2位浜山久雄選手が117.5kgという結果。M4は選手宣誓をした大瀧順巳選手が90kgで優勝という結果であった。

一般の部は、現旧を含めて4名の世界チャンプが出場する豪華版で、木村育史選手と野田俊彦選手のガチンコ対決と思われた。第一試技は中田和夫選手が190kg、池田尚也選手が195kgと成功、野田さんは207.5kgと軽めに入り、それゆえ胸につきづらかったのかややスムー

ズさを欠いたプレスながらも成功。木村さんは日本新となる218kgに挑み、押しきれず失敗。第二試技中田さん195kgに成功、池田さん200kgに失敗、野田さん、218kgあと一押し押し切れず失敗。木村さん、第一試技の野田さんと同じようなプレスで218.5kgに成功。第三試技、3位狙いで野田さんのチームメイト竹花真人選手が197.5kgに挑むも失敗で5位確定。池田さん200kg失敗で4位確定(M1で3位)。4強の中でただ一人2試技とも成功していた中田和夫



ライブ放送された全日本。JPA山口氏(左)のインタビューに答える児玉選手(右)

選手が逆転優勝を賭け 219kg に挑む見せ場を作ってくれたが失敗で 3 位 (M1 で 2 位)、野田さんは逆転を賭け 219 kg に挑むも残念ながら失敗、一般 & M1 のダブル優勝が決まった木村さんは 220kg に挑むが失敗という結果となった。

M1 の部 4 位は今年度世界マスター BP 大会チャンプの吉野公二選手、5 位はやはり国際大会常連の田中祐一郎選手で 155kg 同記録体重差という結果であった。

第五セッション 男子 66kg 級

SJR は安本三世選手が 120kg で優勝。

JR では一般とダブルエントリーで世界の中山久幸選手に果敢に挑んだ水野瑛選手、岡田治也が 225kg、222.5kg のハイレベルな記録で 1 位、2 位。3 位は佐上大幸選手 160kg、4 位はアジア BP 大会優勝の神谷篤季選手 150kg、5、6 位は 145kg の同記録で藤村勇太選手、菊地洋介選手、7 位森田智也選手 132.5kg という結果であった。

M2 の部では、国際大会常連の神岡俊輔選手と森敬選手が 142.5kg、135kg で 1, 2 位。3 位はアジア BP 大会チャンプの中村英明選手 135kg という結果であったが、上位 3 名全員が第三試技で 142.5kg に挑むというこれまた大接戦で会った。

M3 の部、世界マスター BP 大会常勝の佐藤恵二選手が 155kg で優勝、2 位も世界マスター BP 大会今年度出場の澤田信司選手 115kg。

M4 の部では、段安忠信選手が三試技とも成功 138kg の日本新記録で優勝、2 位は本年世界マスター BP 大会チャンプ山本茂樹選手で一試技しか取れず 125kg、3 位にはノーギア・ノーブリッジ・ナローグリップの赤木英治選手が 115kg、4 位は国際大会常連の佃忠和選手で 112.5kg という結果であった。

一般の部では初日で一番の手に汗握る接戦が展開された。上述の JR 二人に加え、50 歳を過ぎて尚、世界大会オープンの部で優勝争いをする中山久幸選手と、ストロングラインオーナー福田将志選手、昨年の覇者高橋恵介選手の 5 名が第一試技から 215kg 以上を申請、稀に見る大熱戦となった。

第一試技岡田選手 215kg に成功、高橋さん 220kg 二段上げになり失敗、水野選手 220.5kg の JR 新に成功、福田さん 225kg、中山さん 230kg にそれぞれ成功。第二試技でも JR の二人は強く、岡田君 222.5kg、水野君 225kg に成功、福田さんは 232.5kg に失敗、中山さんは同重量、決して完璧な試技ではなかったが成功、トップを譲らない。第三試技に入ると、岡田君果敢に 12.5kg UP の 235kg に挑むも失敗、福田さんは粘りの試技で同重



日本記録と優勝をかけて、ベンチ台に向かう野田選手。どうだ?! 観客も一つの試技に集中する。

量成功、暫定トップに立つ。水野君は 235.5kgを失敗、中山さんは絶対重量でも勝利を狙い 236kgの日本記録に挑み、第二試技と同じように、高度なテクニックで見事にこれを押し挙げ、王者返咲きを果たした。流石に世界のデビル、中山さんの真骨頂を見た思いであった。

M1 の部ではアジア BP 大会チャンプ芦崎高志選手が 182.5kgで優勝、2 位は亀谷充男選手 170kg、3 位は地元岐阜協会会長・久野毅選手が 160kgと健闘した。

第六セッション 男子74kg級

このセッションは 66kg級と異なり、児玉大紀選手がどんな記録で 2 位にどれだけ差をつけて勝つのかという興味で観戦及び参戦した。

SJR と M2 ～ 4 のクラスが、前半グループで行われ、SJR は村上翔太選手が 150kgで優勝。

M2 は井出光弘選手が 200kgで優勝、一般とダブルエントリーで後半グループ出場の工藤忠生選手が同記録体重差で 2 位 (井出さんの結果を見てからの試技であったので、第一試技は 202.5kgにすべきではなかったか)、松岡俊男選手が 185kgで 3 位という結果であった。このクラスで 4 位に入った林靖弘選手は自己記録を大幅に更新する 170kgに成功し、来年 M3 となるカレンダーイヤーのため、M3 の部の優勝者 (私) のフォーミュラーを上回り、世界マスター BP 大会の出場権をゲットした。大健闘と言えるであろう！

M3 は優勝物江、155kgしか取れず、練習時に問題なく上がっていた 165kgの 10kgマイナスという情けない結果であった。それでも右肩の骨折がほぼ癒え、4 月の世界マスター BP 大会時よりも試技的には余裕があった。もし、世界マスター BP 大会に出場できるなら、170kg以上の記録で林さんと優勝争いをしたいとモチベーションも向上している。

このクラス 2 位は北芳一選手 145kg、3 位田中光章選手 135kg、4 位 120kgで市川勢選手、5 位川畑孝久選手 105kgという結果であった。

M4 では故障がほぼ癒えた緒方学選手が 140kgで優勝、来年 M5 の年齢となる大ベテラン熊倉英夫選手が 110kgで 2 位、照井清選手が三試技とも成功で 105kgで 3 位という結果であった。

一般の部に登場した児玉さんは今大会 10 日ほど前にオーストラリアの招待試合 (ノーギアの PL 国際大会) で、ノーギア世界記録を打ち立てて、やや調整不足「記録は期待しないでもいい」旨ご自身の SNS で公表しておられた。試合が開始されると第一試技 260kgを軽く決めほぼ優勝確定、第二試技 280kgでこれも順調に成功、第三試技で



66kg級、優勝は中山選手、2 位福田選手 3 位水野選手。

は観客サービスの意味でもあったのか 300.5kgの日本記録に挑み、こちらもほぼ完璧に成功 FP216.99 という結果であった。この結果ベストリフター&文部科学大臣杯は今回も児玉さんでほぼ決まりであろうと、私は確信したが、翌日とんでもない記録が出る事をこの時点で予測できなかった。

このクラスの2位は井上和明選手で、第三試技で粘って 230kgに成功し、M1 の優勝をゲットした。3 位は奥谷元哉選手で 227.5kg、でここまで K's GYM が表彰台を独占、4 位松岡良昭選手 210kg、5 位松岡紀佳選手 210kg、この二人も K'sGYM 横浜の選手である。6 位工藤忠生選手という結果となった。

M1 は上述のように井上部長が優勝、同記録体重差で安江三千夫選手が2 位、松岡紀佳選手が3 位という結果であった。安江さんは、ビルドアップされた素晴らしい身体で、ノーギアが強いがゆえにシャツの効かせ方が今一で、今回会心の結果ではなかったように思われた。「以前出場した世界マスター BP 大会での借りを、(世界大会に出場して) 何としても返したいんです」と二日目の朝、私に挨拶いただいたときに語っておられた。もう少しシャツに慣れれば 250kgなどおもちゃの様に挙上されるであろう。是非とも頑張ってください！

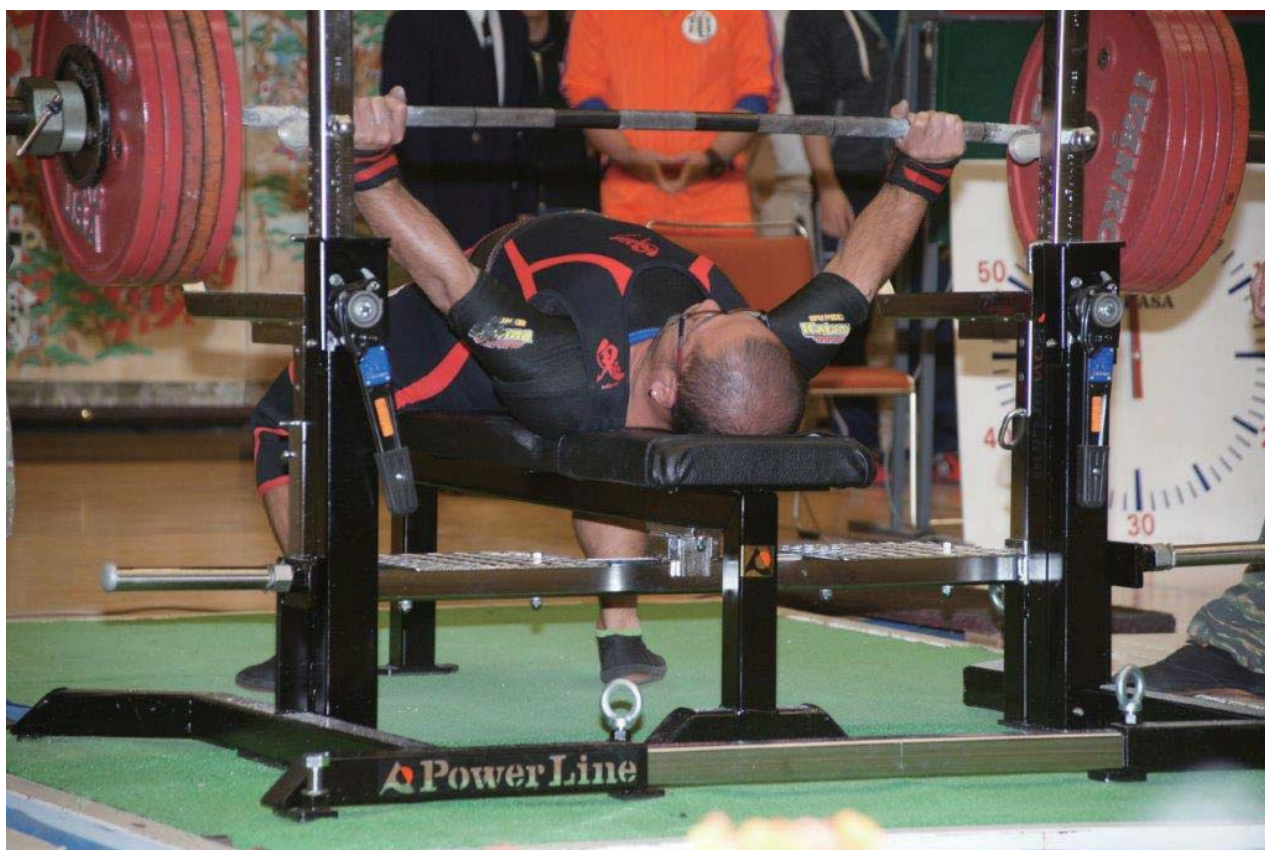
11月1日

第七セッション 男子83kg級

このクラスも74kg級同様、優勝はパワー界の玉三郎・福島勇輝選手でほぼ決定、どんな記録で2位をどれだけ離して勝つかという観点で拝見した。私は陪審員に入らせていただいた。

JR では一般とダブルエントリーの村野知永選手が三試技とも成功 240kgで2 位に 60kgの差をつけ圧勝(一般で4 位)。大学入学後一時スランプに陥っていた村野君であるが、ようやく脱却し今回自己記録を更新した。ご自身の SNS でも「久しぶりに、試技をしていて楽しいと思いました」と書いていた。陪審員席で 240kgのプレスコールがかかった際、私は「岩上さん！」と呟いていた。2 年前の4 月に急逝された岩上勝夫さんは、村野君のことを

ご自身の孫と呼んで可愛がっておられた。きっと美濃加茂の会場に来て村野君の試技を見守っていてくださったのだらうと思う。このクラス2 位は五十嵐大輝選手で 180kg、3 位は渡邊和也選手で 165kgという結果であった。M2 の部は田中薫選手が 200kgで優勝、上月敦男選手が 180kgで2 位、3 位は山本浩由選手で 167.5kgという結果であった。



300.5 kg の日本新を完璧に成功させるた74kg級優勝、児玉選手。

なんと、322.5 kg の日本記録に成功。83 kg 級、福島選手



M3 では大谷進帝王が 185kg で優勝、北野利雄選手が 150kg で 2 位、對馬宏選手が三試技成功 145 kg で 3 位という結果となった。大谷さんの第一試技の際、両踵が浮いているように陪審員席から見え、判定は赤三であった。ところが、靴の形状で浮いて見えるという抗議がセコンドから入り、検証の結果抗議の通りと認められたので、第二、三試技は問題なく成功と

なった。ただ、国際大会では誤解される形状の靴は使用しないほうが良いのではないかと思いますので、その旨大谷さんに申し上げた。北野さんは第二、三試技の 160kg をおもちゃの様に軽く挙げるのだが、いずれも肘の曲がりを取られ一試技のみの成功におわった。来年カレンダーイヤーで M4 になられる北野さん、国際大会ではいかに肘を伸ばした様に見えるフィニッシュが出来るかが好成績のカギになるであろう。M4 では BP 及び PL の部でも国際大会常連の安井民雄選手が三試技とも成功し、120kg で優勝。73 歳にしてまだ記録を伸ばしておられる安井さんは、毎回 10 歳も若い私に実に丁寧にご挨拶してくださり、大変恐縮している。「実るほど首を垂れる稲穂かな」を実践しておられ、尊敬する先輩である。

一般の部で、福島勇輝選手は第一試技から 300kg を申請、成功はしたがそれほど余裕のある試技には見えなかった。優勝はほぼ決定である。第二試技の申請は 310.5kg の日本記録、第一試技の挙がり具合から無理かなとも思われたが、日本記録のため私は副審席についた。試技はいつもの福島さんのプレス通り、ゆっくりとやや右が遅れ気味であるが、最後まで押し切り、私は問題なしと判断し白を点けたが、主審ともう一人の副審が腰の浮きを取り、赤で失敗判定。すると福島さん、第三試技で何と 322.5kg を申請、試技は第二試技とほぼ同じで最後までプレスし、白 2: 赤 1 で成功判定。F.P は何と 217.40



男子ベストリフターを獲得した福島選手。なんと、なんと、観衆の前で池田さんにプロポーズ

で児玉さんを上回り、ベストリフター&文部科学大臣杯を獲得。しかも表彰式の最中に福島さんは、かねてから交際の池田未里さんにプロポーズ！ 見事「お受けします 宜しくお願いします！」との返事をもらった。まさに人生で最良の日ではなかったか！！

このクラス 2 位は中島聡選手 252.5kg 3 位は同記録体重差で林克也選手であった。

M1 の部では、優勝宮本崇行選手 222.5kg、2 位鈴木重成選手 220kg、3 位藤原英司選手 200kg という結果であった。

第八セッション 男子 93 kg 級

M1 は大接戦となり、83kg 級から階級を上げてきた新屋敷弘明選手が 215kg で優勝、同記録体重差で伊藤禎浩選手が 2 位、3 ～ 5 位も 212.5kg 同記録体重差で、3 位小笠剛志選手、4 位竹村明久選手、5 位小川光寿選手という結果となった。

M2 は国際大会常連のベテラン北川武志選手が 205kg で優勝、小西裕司選手が 170kg で 2 位。

M3 では、飯島修選手が 205kg で優勝、2 位三種 M3 の雄・愛媛の渡辺和利選手が 170kg、3 位は二人の息子さんと一緒に出場した石田耕作選手 150kg という結果であった。飯島さんには是非とも世界マスター BP 大会にご出場いただきたい。

M4 は大ベテランの河部勝次選手が 157.5kg で優勝、第三試技では 170kg に挑む元気であった。

一般の部では、ダブルエントリーも含めて 10 名の出場選手中 7 名が 20 歳台で、世代交代を思わせるセッションであった。優勝は大室豪槻選手 294kg、2 位はこの一年で大幅記録 UP の長谷川直輝選手 285kg、3 位 PL の全日本及び JR 全日本チャンプ・怪物堀口耀介選手 282.5kg、以下 4 位大幅に自己記録を更新の久保匡平選手 272.5kg、5 位梁本智弘選手 262.5kg、6 位山下保樹選手 260kg で、全員 20 歳代であった。

私はこのクラス、300kg オーバーの力がある堀口君の圧勝かと思っていたが、調子をやや落としていたようであった。世界 PL 大会では是非とも頑張って結果を出していただきたい。



集中する原選手、+120 kg 級、優勝！！

第九セッション 男子105kg級

SJR では柏木悠太郎選手が 200kgで優勝、2 位も好記録 195kgで中根健太選手。

JR は横山恭平選手が 215kgで優勝、2 位山口明亮選手 180kg。

一般の部は、前日の 66kg級と並ぶ大接戦となった。

優勝候補の筆頭は佐藤優輝選手で、関東 BP 大会で 310kgに成功。対抗は世界マスター BP 大会 93kg級三連覇で安定感抜群、階級を上げてきた葛西昌彦選手。ノーギア PL 界日本最強の武田裕介選手、105kg級 PL 日本チャンプ阿久津貴史選手、シングル BP 日本チャンプ経験者柴田道郎選手など、役者が揃っていた。

試合が開始されると第一試技から佐藤さん、葛西さんの同門ガチンコ対決の様相を呈し、葛西さん定評ある安定した BP で 300-310 と成功。佐藤さんも 302.5-311 と順調に成功。葛西さんは第三試技 315kgを申請、第一、二試技同様、美しい BP でこれに成功、ここで佐藤さんは同記録体重差を当然選択するものと思われたがロット No が葛西さんより若かったこともあったのか、315.5kgを申請した。私は過去の全日本 BP 大会で何度も苦渋を飲んでいる佐藤さんにして、この選択は疑問に思えたが、観客全員が固唾をのんで見守る中、同重量をゆっくりと押し上げ判定は白 3、念願の全日本 BP 大会初栄冠に見事輝いた！佐藤さんの SNS によれば試技直後師匠の児玉さんが泣きながら（泣いているように見えたとの事）駆け寄ってきて祝福してくれたとの事であった。苦節何年になるであろう、本当におめでとう佐藤さん！！

葛西さん (M1 では優勝) とは 10/31 夕方「明日は 320kg期待していますよ！」と声をかけたのだが、本当に 320kgなら挙がるのではないかとと思われる様な凄い記録の伸びである。世界大会、一般かマスターズのどちらにも出場されるにしろ、頑張っていたきたい。3 位は安定した BP で 3 試技とも成功した武田さんで記録は 285kg、「優勝者と 30kgもの差があった事が本当に悔しかった 来年はフルギア BP にも力を入れる！」とご自身の SNS でコメントしていた。是非とも 300kg半ばを目指す気持ちで頑張っていたきたい。4 位は阿久津さんで 275kg「世界 PL 大会前のいい調整になりました（世界大会）頑張ります！」と試合後語っていた。5 位は山森智行選手で 275kg (M1 で 2 位)、第三試技で暫定 1 位を狙い 311.5kgに挑む見せ場を作ってくれた。6 位はフルギア BP 経験半年程度の驚異の新人橋本到選手で 267.5kgという結果であった。

M1 優勝葛西さん、2 位山森さん、3 位伊藤智選手 235kgで来年カレンダーイヤーで M2 となる伊藤さんは世界大会出場権をゲットした。

M2 は村中悟選手と、国際大会常連中谷幸市 JPA 監事の一騎打ちとなり、225kg同記録体重差で優勝村中さん、2 位中谷さんという結果となった。

M4 は今春の世界マスター BP 大会出場の長島義孝選手が 140kgで優勝した。

第十セッション 男子

120kg級 120kg 超級

120kg級

SJR に出場した怪物藤本竜希選手は、残念ながら 335kgに三試技とも失敗、記録なしに終わってしまった。ただ、世界 BP 大会で世界を震撼させた大器の片りんは十分に感じさせてくれた。2000 年生まれ、まだ 15 歳にして 300kgを軽く超える BP をこなす児玉さんや福島君に匹敵するビッグタレント、急がず怪我



上田真司選手、貫録のベンチプレス。

に気を付け 400kgオーバーの BP を目指していただきたい！

JR は DL が強い佐野誓建選手が 200kg で優勝した。

一般の部、上田真司選手は難病が再発したような記述がご自身と奥様の SNS に見受けられ心配していたのだが、今大会で見る限り 350kg はほぼ完ぺきに成功し、ほぼ優勝決定。第二、三試技で挑んだ 363kg もあと一歩で成功という結果であった。難病とうまく共存して無理せず BP を継続していただきたい。このクラス 2 位は M2 とダブルエントリーの和田高平選手 297.5kg (M2 優勝)、3 位は M1 とダブルエントリー後藤衆治選手 275kg (M1 優勝)、4 位加瀬智選手 230kg、5 位やはりダブルエントリーの岡山三紀選手 227.5kg、6 位関口和夫選手 210kg という結果となった。

M 2 で 2 位は鷺住松男選手 160kg という結果であった。

120kg 超級

8 月末の兵庫交流 BP 大会で 335kg に成功した梶井俊宏選手が本命、昨年のリベンジを目指す若手の斎藤大生選手が対抗という予想を立てたが、残念ながら梶井さんは 340kg に三試技とも失敗、記録なしで終わり、斎藤君も第一試技 305kg のみ成功で 3 位という結果となった。

優勝はベテランの原新一選手で 310kg、第三試技では 350kg に挑み見せ場を作ってくれた。2 位は同記録体重差で柳川大貴選手、4 位には M2 とダブルエントリーの古城資久選手が 280kg の好記録で入った (M2 優勝)。

5 位は巨漢の江添和昭選手で 270kg という結果であった。

私は梶井さんとは 7～8 年前、神奈川の大会にオープン参加してこられた際に会話をし、その真摯なお人柄に惹かれ、大会でお会いするたびに会話をさせていただいている。今回残念な結果となったが、これを教訓として是非とも 350kg 超えの BP を目指してほしい。梶井さんなら十分に達成可能である 頑張ってください！古城さんとも会話をしたところ「大谷進さんから腹よりの BP を伝授され調子が良かった」との事、「世界大会で Doan をやっつけて下さい！」と言ったところ「120kg 超級なので相手はガードローです！」との答えが返ってきた。ご自身のブログにも書いておられたが 290kg が安定して成功するようになれば充分勝機があると思う。

こうして全日本 BP 大会は終了した。主管協会の岐阜県の役員の方々はもちろん、中部ブロック総動員で運営した今大会は、福田康宏さん率いる「ちからこぶ」の素晴らしい補助団の大活躍もあり、大きな事故もなく終了した。

上述した様に表彰式で福島勇輝君のとても微笑ましいハプニングもあり、印象に残る大会となった。



JPA の一員として主管協会、中部ブロック役員、関係者各位に心から御礼申し上げたい。

「皆さん、素晴らしい大会を開催いただき本当に有難うございました！！」

120+, M 2, 日本新記録樹立の古城選手。世界では、優勝を狙っていきたい、と抱負を語る。

第27回全日本ベンチプレス選手権大会記録表

F大会 2015年10月31日(土)、11月1日(日) 美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION											
No	階級	氏 名	生年	所 属	体重	I	Ⅱ	Ⅲ	記録	順位	フォーミュラー 記録
女子47kg級 一般											
	47kg級	福島 友佳子	1970	パワーハウス	46.45	122.5	130	×134	130.0	1	176.32
		新井 拓子	1963	スーパーパワーアサマトレーニングクラブ	46.6	100	×105	105	105.0	2	142.08
		宮本 智子	1967	ヴィテンのいち	46.7	×92.5	92.5	×100	92.5	3	124.98
		岡本 美樹	1965	リアルスイング	46.9	85	×90	×95	85.0	4	114.49
		吉岡 泰子	1990	岡山大学陵門会	41	60	×65	×65	60.0	5	88.34
女子47kg級 Jr.											
	47kg級	早川 琴果	1995	阪南大学ウエイトトレーニング部	46.7	80	×90.5	90.5	※ 90.5	1	122.28
※Jr.日本記録											
女子47kg級 マスターズ1											
	47kg級	餘語 てるみ	1969	フジモトジム	46	82.5	85	92.5	92.5	1	126.33
		宮本 智子	1967	ヴィテンのいち	46.7	×92.5	92.5	×100	92.5	2	124.98
女子47kg級 マスターズ2											
	47kg級	新井 拓子	1963	スーパーパワーアサマトレーニングクラブ	46.6	100	×105	105	105.0	1	142.08
		岡本 美樹	1965	リアルスイング	46.9	85	×90	×95	85.0	2	114.49
		柴田 昌美	1965	個人	46.3	50	55	×57.5	55.0	3	74.77
女子47kg級 マスターズ4											
	47kg級	奥村 正子	1930	水戸市パワーリフティング協会	46.8	45	47.5	50	※ 50.0	1	67.45
※M4日本記録、最高齢記録											
女子52kg級 一般											
	52kg級	白川 カオリ	1963	パワーハウス	51.95	117.5	122.5	×135	122.5	1	152.83
		伊賀 梓	1985	岡山大学陵門会	51.45	×95	95	100	100.0	2	125.69
		寺村 美香	1962	リアルスイング	51.4	95	×97.5	×100	95.0	3	119.49
		磯田 あかね	1970	スーパーパワーアサマトレーニングクラブ	51.35	×92.5	92.5	×97.5	92.5	4	116.44
		森塚 久美	1975	パワーフィットネス	52	85	90	×97.5	90.0	5	112.20
		松村 育子	1983	ノーリミッツ	51.35	75	80	82.5	82.5	6	103.85
		田中 彰子	1964	パワーハウス明石	51.75	75	80	×82.5	80.0	7	100.10
		伊藤 由実子	1976	K's GYM	50.8	65	70	75	75.0	8	95.19
女子52kg級 SJr.											
	52kg級	赤澤 恋	1999	厚木商業高校	52	60	73.5	75	※ 75.0	1	93.50
※SJr.日本記録											
女子52kg級 Jr.											
	52kg級	南 采沙	1993	京都学園大学パワーリフティング部	51.05	90	100	103	※ 103.0	1	130.24
※Jr.日本記録											
女子52kg級 マスターズ1											
	52kg級	渡辺 礼美	1966	パワーハウス赤穂	48.2	92.5	95	×102.5	95.0	1	125.44
		磯田 あかね	1970	スーパーパワーアサマトレーニングクラブ	51.35	×92.5	92.5	×97.5	92.5	2	116.44

第27回全日本ベンチプレス選手権大会記録表

F大会 2015年10月31日(土)、11月1日(日) 美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION

JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION

No	階級	氏 名	生年	所 属	体重	I	Ⅱ	Ⅲ	記録	順位	フォーミュラ記録
女子52kg級 マスターズ2											
	52kg級	増山 朱美	1962	明治安田生命	50.8	85	95	97.5	97.5	1	123.75
		寺村 美香	1962	リアルスイング	51.4	95	×97.5	×100	95.0	2	119.49
		田中 彰子	1964	パワーハウス明石	51.75	75	80	×82.5	80.0	3	100.10
		水野 文江	1959	ゴールドジム名古屋金山	50.35	×90	×90	×90		—	
女子52kg級 マスターズ4											
	52kg級	古川 芳子	1939	K's GYM横浜	51.8	55	60	63.5	※ 63.5	1	79.40
※M4日本記録											
女子57kg級 一般											
	57kg級	酒巻 知子	1965	ストロングライン	54.75	100	105	×115.5	105.0	1	125.75
		藤原 のどか	1992	パワーハウス明石	56.3	100	102.5	×115	102.5	2	120.10
		山口 彩	1986	K's GYM	56.55	85	90	×100	90.0	3	105.09
		長谷川 真紀	1965	パワーハウス	56	80	85	87.5	87.5	4	102.95
		長江 由美子	1974	岡山大学陵門会	56.65	70	80	85	85.0	5	99.11
女子57kg級 Jr.											
	57kg級	櫻 由貴	1995	神戸医療福祉大学	56.15	75	~80	80	80.0	1	93.93
女子57kg級 マスターズ1											
	57kg級	伊藤 千帆	1974	K's GYM	55.9	85	90	×121	90.0	1	106.04
		長江 由美子	1974	岡山大学陵門会	56.65	70	80	85	85.0	2	99.11
		塚本 美紀	1972	パワーハウス	55.7	45	50	×55	50.0	3	59.08
女子57kg級 マスターズ2											
	57kg級	酒巻 知子	1965	ストロングライン	57	100	105	×115.5	105.0	1	125.75
女子57kg級 マスターズ3											
	57kg級	長尾 優子	1950	越谷市民プール・トレーニングジム	56.55	70	75	×80	75.0	1	87.57
		中沢 久美子	1948	MAXトレーニングジム	55.15	60	×62.5	62.5	62.5	2	74.42
女子63kg級 一般											
	63kg級	石橋 茜	1993	東洋大学	60.1	105	112.5	117.5	117.5	1	130.83
		古味 良子	1955	T-REX	62.85	112.5	115	115.5	115.5	2	124.27
		田島 瞳	1982	個人	61.75	102.5	107.5	×115	107.5	3	117.23
		奥谷 由香	1984	K's GYM	62.35	105	107.5	×110	107.5	4	116.36
		工藤 智恵子	1967	マッスルプロダクション	62.3	85	92.5	×97.5	92.5	5	100.19
		林 和美	1963	パワーハウス	62.75	×90	90	×97.5	90.0	6	96.95
女子63kg級 Jr.											
	63kg級	石橋 茜	1993	東洋大学	60.1	105	112.5	117.5	117.5	1	130.83
		相馬 由貴	1995	岡山大学ウェイトトレーニング部	57.05	62.5	67.5	72.5	72.5	2	84.07
女子63kg級 マスターズ1											
	63kg級	工藤 智恵子	1967	マッスルプロダクション	62.3	85	92.5	×97.5	92.5	1	100.19

F大会 2015年10月31日(土)、11月1日(日) 美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION											
No	階級	氏 名	生年	所 属	体重	I	Ⅱ	Ⅲ	記録	順位	フォーミュラー記録
女子63kg級 マスターズ2											
	63kg級	林 和美	1963	パワーハウス	62.75	× 90	90	× 97.5	90.0	1	96.95
女子63kg級 マスターズ3											
	63kg級	古味 良子	1955	T-REX	62.85	112.5	115	115.5	※ 115.5	1	124.27
※M3日本記録											
女子72kg級 一般											
	72kg級	溝口 久美	1988	K's GYM横浜	71.25	130	× 140	× 158	130.0	1	127.78
		澤 千代美	1949	パワーハウス	71.25	100	110	× 120	110.0	2	108.12
		櫻井 美幸	1969	BIG GUNS	71.45	90	× 102.5	× 102.5	90.0	3	88.30
女子72kg級 マスターズ1											
	72kg級	櫻井 美幸	1969	BIG GUNS	71.45	90	-102.5	-102.5	90.0	1	88.30
女子72kg級 マスターズ3											
	72kg級	澤 千代美	1949	パワーハウス	71.25	100	110	× 120	110.0	1	108.12
女子84kg級 一般											
	84kg級	照屋 利恵	1975	POWERSPORT	72.15	× 130	130	× 140	130.0	1	126.71
		東前 めぐみ	1983	K's GYM	79.85	85	90	× 100	90.0	2	82.44
女子84kg級 マスターズ1											
	84kg級	照屋 利恵	1975	POWERSPORT	72.15	× 130	130	× 140	130.0	1	126.71
女子84kg級 マスターズ3											
	84kg級	作馬 真由美	1954	パワーハウス	76.05	75	80	× 85	※ 80.0	1	75.40
※M3日本記録											
女子84kg超級 一般											
	+84kg級	小松 麻実	1969	有光自動車	104.7	105	110.5	× 120	110.5	1	90.88
女子84kg超級 マスターズ1											
	+84kg級	小松 麻実	1969	有光自動車	104.7	105	110.5	× 120	※ 110.5	1	90.88
※M1日本記録											

F大会 2015年10月31日(土)、11月1日(日) 美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION											
No	階級	氏 名	生年	所 属	体重	I	Ⅱ	Ⅲ	記録	順位	フォーミュラー 記録
男子53kg級 S Jr.											
	53kg級	田村 陽	1999	厚木商業高校	51.95	100	× 120.5	× 120.5	100.0	1	98.23
男子53kg級 Jr.											
	53kg級	森脇 滉人	1995	岡山大学ウェイトトレーニング部	53	110	120	× 125	120.0	1	115.45
男子59kg級 一般											
	59kg級	木村 育史	1975	K's GYM	58.9	× 218	218.5	× 220	※ 218.5	1	189.56
		野田 俊彦	1979	パワーハウス	58.75	207.5	× 218	× 219	207.5	2	180.44
		中田 和夫	1967	K's GYM	58.6	190	195	× 219	195.0	3	169.98
		池田 尚也	1970	リアルスタイル	58.95	195	× 200	× 200	195.0	4	169.04
		竹花 真人	1988	パワーハウス	58.8	175	182.5	× 197.5	182.5	5	158.58
		村上 孝志	1984	B.P.S	58.35	× 170	× 170	170	170.0	6	148.78
		村田 元輝	1997	厚木商業高校	58.55	170	× 190	× 195	170.0	7	148.30
		吉野 公二	1969	個人	58.55	150	152.5	155	155.0	8	135.22
		石渡 啓之	1959	パワーハウス	56.3	140	150	× 155	150.0	9	135.84
		山根 修平	1978	TXP	58.55	150	× 160	× 160	150.0	10	130.86
		松野 翼	1984	K's GYM	58.65	127.5	135	142.5	142.5	11	124.12
		岩崎 量也	1984	西部組	58.5	× 160	× 160	× 175			
	中野 衛	1975	BIG GUNS	58.75	× 180	× 180	× 182.5				
※一般日本記録											
男子59kg級 S Jr.											
	59kg級	村田 元輝	1997	厚木商業高校	58.55	170	× 190	× 195	170.0	1	148.30
		森田 篤史	1998	浦和学院高校	58.3	120	× 127.5	× 127.5	120.0	2	105.11
男子59kg級 Jr.											
	59kg級	竹尾 将汰	1992	ストロングライン	58.75	135	140	145	145.0	1	126.09
		谷澤 直紀	1995	TXP	58.5	120	125	130	130.0	2	113.50
		寺門 隆太	1993	羽衣国際大学	57.95	× 120	× 120	× 130			
		木村 和正	1994	岡山大学ウェイトトレーニング部	58.85	× 150	× 150	× 150			
男子59kg級 マスターズ1											
	59kg級	木村 育史	1975	K's GYM	58.9	× 218	218.5	× 220	※ 218.5	1	189.56
		中田 和夫	1967	K's GYM	58.6	190	195	× 219	195.0	2	169.98
		池田 尚也	1970	リアルスタイル	58.95	195	× 200	× 200	195.0	3	169.04
		吉野 公二	1969	個人	58.55	150	152.5	155	155.0	4	135.22
		田中 祐一郎	1967	個人	58.95	145	150	155	155.0	5	134.36
※M1日本記録											

第27回全日本ベンチプレス選手権大会記録表

F大会 2015年10月31日(土)、11月1日(日) 美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION

JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION

フォーミュラー記録

No	階級	氏 名	生年	所 属	体重	I	Ⅱ	Ⅲ	記録	順位	
男子59kg級 マスターズ2											
	59kg級	石渡 啓之	1959	パワーハウス	56.3	140	150	×155	150.0	1	135.84
		橋本 雅人	1957	ゴールドジム神戸元町	57.35	125	×127.5	127.5	127.5	2	113.43
		亀田 司	1961	チーム度胆	58.25	122.5	125	127.5	127.5	3	111.77
		椎木 智良	1964	ストロングライン	58.35	115	122.5	127.5	127.5	4	111.59
		飯塚 進市	1956	水戸市パワーリフティング協会	58.4	115	120	×125	120.0	5	104.94
男子59kg級 マスターズ3											
	59kg級	伊差川 浩之	1953	POWERSPORT	57.6	150	×155	×155	150.0	1	132.89
		浜山 久雄	1947	新日鉄住金名古屋BC	58.55	×117.5	×117.5	117.5	117.5	2	102.50
男子59kg級 マスターズ4											
	59kg級	大瀧 順巳	1942	スーパークラブ名古屋	54.8	80	90	×95	90.0	1	83.70
男子66kg級 一般											
	66kg級	中山 久幸	1963	ノーリミッツ	65.05	230	232.5	236	※ 236.0	1	187.55
		福田 将志	1984	ストロングライン	65.55	225	×232.5	235	235.0	2	185.57
		水野 瑛	1992	K's GYM横浜	65.2	220.5	225	×235.5	225.0	3	178.46
		岡田 治也	1996	阪南大学ウエイトトレーニング部	65.95	215	222.5	×235	222.5	4	174.82
		田中 勝之	1980	K's GYM横浜	65.55	190	×200	200	200.0	5	157.93
		久米 亮平	1988	個人	63.7	180	190	×200	190.0	6	153.69
		石川 拓也	1979	パワーハウス	65.85	182.5	187.5	×192.5	187.5	7	147.50
		芦崎 高志	1971	チーム度胆	64.95	182.5	×200	×205	182.5	8	145.22
		亀谷 充男	1971	パワーハウス山口	65	×170	170	×187.5	170.0	9	135.18
		矢野 徳宏	1988	矢野パワージム	63.65	165	×170	×170	165.0	10	133.56
		渡辺 匡宏	1977	THE STRONGEST WARRIORS	65.75	×160	160	×170	160.0	11	126.02
		石田 宜央	1980	パワーハウス	65.5	145	150	155	155.0	12	122.47
		高橋 恵介	1973	BIG GUNS	65.6	×220	×220	×235.5			
※一般、M1、M2日本記録											
男子66kg級 S.Jr.											
	66kg級	安本 三世	1997	厚木商業高校	64.5	110	120	×132.5	120.0	1	96.05

F大会



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION

[illegible]

第27回全日本ベンチプレス選手権大会記録表

F大会 2015年10月31日(土)、11月1日(日) 美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION

No	階級	氏 名	生年	所 属	体重	I	Ⅱ	Ⅲ	記録	順位	フォーミュラー 記録
男子74kg級 一般											
	74kg級	児玉 大紀	1979	K's GYM	73.6	260	280	300.5	※ 300.5	1	216.99
		井上 和明	1972	K's GYM	72.6	222.5	× 227.5	230	230.0	2	167.73
		奥谷 元哉	1980	K's GYM	73.95	222.5	× 227.5	227.5	227.5	3	163.72
		松岡 良昭	1983	K's GYM横浜	71.5	200	× 210	210	210.0	4	154.88
		松岡 紀佳	1971	K's GYM横浜	73.35	210	× 225	× 230	210.0	5	152.01
		工藤 忠生	1960	マッスルプロダクション	73.9	200	× 220.5	× 220.5	200.0	6	144.00
		松井 明彦	1980	パワーライン	72.95	165	× 170	× 172.5	165.0	7	119.91
		郡山 武士	1984	矢野パワージム	70.6	150	× 165	× 170	150.0	8	111.68
		高畑 剛春	1975	西部組	72.9	× 165	× 170	× 170			
		武田 大輔	1976	BIG GUNS	73.65	× 190	× 190	× 190			
※一般日本記録											
男子74kg級 SJr.											
	74kg級	村上 翔太	1998	浦和学院高校	73.5	150	× 155	× 155	150.0	1	108.42
男子74kg級 Jr.											
	74kg級	逢野 崇大	1994	阪南大学ウエイトトレーニング部	74	187.5	197.5	202.5	202.5	1	145.66
		細谷 勇一	1992	K's GYM横浜	72.15	× 185	185	200	200.0	2	146.52
		高山 由成	1993	BIG GUNS	73.5	× 190	190	× 197.5	190.0	3	137.33
		石井 尚紀	1995	ストロングライン	68.15	145	155	× 165	155.0	4	118.60
		土居原 健太	1994	岡山大学ウエイトトレーニング部	73.6	140	150	× 160	150.0	5	108.31
		義友 雄輝	1995	岡山大学ウエイトトレーニング部	69.75	115	125	135	135.0	6	101.45
男子74kg級 マスターズ1											
	74kg級	井上 和明	1972	K's GYM	72.6	222.5	× 227.5	230	230.0	1	167.73
		安江 三千夫	1970	THE STRONGEST WARRIORS	73.85	230	× 236.5	× 236.5	230.0	2	165.68
		松岡 紀佳	1971	K's GYM横浜	73.35	210	× 225	× 230	210.0	3	152.01
		高畑 剛春	1975	西部組	72.9	× 165	× 170	× 170			
男子74kg級 マスターズ2											
	74kg級	井出 光弘	1961	FT GYM	73.75	200	× 210	× 210	200.0	1	144.21
		工藤 忠生	1960	マッスルプロダクション	73.9	200	× 220.5	× 220.5	200.0	2	144.00
		松岡 俊男	1963	スーパーパワーアサマトレーニングクラブ	72.95	175	185	× 200	185.0	3	134.44
		林 靖弘	1956	マッスルプロダクション石川	73.05	160	165	170	170.0	4	123.42
		佐伯 博文	1964	西部組	72.65	160	× 165	165	165.0	5	120.27
		井伊 満	1958	フジモトジム	72.35	130	150	160	160.0	6	116.98
		桑原 勉	1965	パワーハウス	72.6	150	157.5	× 162.5	157.5	7	114.86
		内村 政夫	1959	コスモスポーツ	73.3	140	150	× 167.5	150.0	8	108.63
		工藤 芳正	1962	マッスルプロダクション	73.95	× 122.5	122.5	× 127.5	122.5	9	88.16
		三島 忠	1962	K's GYM	73.35	× 210	× 215	× 215			

第27回全日本ベンチプレス選手権大会記録表

F大会 2015年10月31日(土)、11月1日(日) 美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION

JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION											
No	階級	氏 名	生年	所 属	体重	I	Ⅱ	Ⅲ	記録	順位	フォーミュラー 記録
男子74kg級 マスターズ3											
	74kg級	物江 毅	1952	Team Ponze	73.3	155	×162.5	×162.5	155.0	1	112.25
		北 芳一	1950	マッスルプロダクション石川	73.2	140	×145	145	145.0	2	105.11
		田中 光章	1953	B.P.S	72.7	130	135	×140	135.0	3	98.35
		市川 勇	1947	POWER BOMB! GYM	69.5	115	117.5	120	120.0	4	90.42
		川畑 孝久	1950	パワーハウス	72.35	100	105	×115	105.0	5	76.77
男子74kg級 マスターズ4											
	74kg級	緒方 学	1941	パワーハウス山口	71.75	130	140	×145	140.0	1	102.98
		熊倉 英夫	1936	ストロングライン	70	105	110	×115	110.0	2	82.43
		照井 清	1941	個人	69.55	95	100	105	105.0	3	79.08
男子83kg級 一般											
	83kg級	福島 勇輝	1986	FT GYM	81.65	300	×310.5	322.5	※ 322.5	1	217.40
		中島 聡	1985	筋肉道場馬鹿力	82.55	×250	252.5	×260	252.5	2	169.09
		林 克也	1987	K's GYM	82.95	245	252.5	×257.5	252.5	3	168.60
		村野 知永	1994	阪南大学ウエイトトレーニング部	78.5	210	222.5	240	240.0	4	165.85
		宮本 崇行	1973	K's GYM	81.55	×210	210	222.5	222.5	5	150.10
		吉岡 秀明	1984	岡山大学陵門会	79.4	210	×215	220	220.0	6	150.91
		松永 浩二	1983	ハマースポーツジム	81.95	220	×230	×232.5	220.0	7	147.97
		鈴木 重成	1973	K's GYM横浜	83	×220	×220	220	220.0	8	146.85
		藤原 英司	1968	個人	81.65	190	200	×205	200.0	9	134.82
		上月 敦雄	1961	TXP	80	180	×207.5	×207.5	180.0	10	122.89
		石田 吉央	1983	パワーハウス	81.85	×160	160	×175	160.0	11	107.70
※一般日本記録											
男子83kg級 Jr.											
	83kg級	村野 知永	1994	阪南大学ウエイトトレーニング部	78.5	210	222.5	240	240.0	1	165.85
		五十嵐 大輝	1996	K's GYM横浜	82.9	180	×202.5	×210	180.0	2	120.24
		渡邊 和也	1993	ストロングライン	82.45	×160	165	×180	165.0	3	110.57
		折道 卓也	1995	阪南大学ウエイトトレーニング部	78.65	155	162.5	×170	162.5	4	112.15
		長門 由輝	1993	パワーライン	79.3	×160	160	×170	160.0	5	109.84
男子83kg級 マスターズ1											
	83kg級	宮本 崇行	1973	K's GYM	81.55	×210	210	222.5	222.5	1	150.10
		鈴木 重成	1973	K's GYM横浜	83	×220	×220	220	220.0	2	146.85
		藤原 英司	1968	個人	81.65	190	200	×205	200.0	3	134.82
		佐藤 善弘	1970	湘南ベンチプレスサーズ	81.3	170	×177.5	×177.5	170.0	4	114.90

F大会 2015年10月31日(土)、11月1日(日)美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION											
No	階級	氏 名	生年	所 属	体重	I	Ⅱ	Ⅲ	記録	順位	フォーミュラ記録
男子83kg級 マスターズ2											
	83kg級	田中 薫	1957	ヴィテンののいち	82.25	200	× 205	207.5	207.5	1	139.26
		上月 敦雄	1961	TXP	80	180	× 207.5	× 207.5	180.0	2	122.89
		山本 浩由	1960	K's GYM	81.35	167.5	× 180	× 190	167.5	3	113.17
		佐藤 一夫	1961	パワーハウス	75.1	140	× 145	× 150	140.0	4	99.6
		石本 直樹	1962	岩崎BC津山	82.95	× 202.5	× 202.5	× 202.5			
男子83kg級 マスターズ3											
	83kg級	大谷 進	1952	パワーハウス	81.95	× 175	175	185	185.0	1	124.43
		北野 利雄	1946	個人	82.75	150	× 160	× 160	150.0	2	100.30
		對馬 宏	1952	スーパーパワーアサマトレーニングクラブ	80.05	137.5	142.5	145	145.0	3	98.95
		今泉 春樹	1949	清原トレーニングクラブ	80.05	140	× 145	× 147.5	140.0	4	95.54
		藤本 章夫	1949	フジモトジム	78.65	110	135	× 140	135.0	5	93.17
男子83kg級 マスターズ4											
	83kg級	安居 民雄	1942	西部組	76.35	105	115	120	120.0	1	84.47
男子93kg級 一般											
	93kg級	大室 豪規	1993	阪南大学ウエイトトレーニング部	87.25	280	294	× 305	※ 294.0	1	190.77
		長谷川 直輝	1992	K's GYM横浜	90.85	285	× 294.5	× 295.5	285.0	2	181.08
		堀口 耀介	1993	青山学院大学	92.4	270	282.5	× 301	282.5	3	178.01
		久保 匡平	1987	パワーハウス	93	260	272.5	× 285	272.5	4	171.18
		梁本 智弘	1986	K's GYM	92.1	240	252.5	262.5	262.5	5	165.67
		山下 保樹	1991	K's GYM	91.4	260	× 282.5	× 287.5	260.0	6	164.71
		齋藤 学	1981	苫小牧マッスルクラブ	89.55	230	× 250	250	250.0	7	160.01
		小笠 剛志	1974	パワーハウス赤穂	91.8	200	212.5	× 217.5	212.5	8	134.33
		竹村 明久	1973	個人	91.8	× 205	× 212.5	212.5	212.5	9	134.33
		吉川 望	1986	マッスルプロダクション	91.85	× 293.5	× 293.5	× 294.5			
※一般日本記録											
男子93kg級 Jr.											
	93kg級	大室 豪規	1993	阪南大学ウエイトトレーニング部	87.25	280	294	× 305	※ 294.0	1	190.77
		長谷川 直輝	1992	K's GYM横浜	90.85	285	× 294.5	× 295.5	285.0	2	181.08
		伊藤 杜志	1995	北海学園大学	88.95	182.5	192.5	× 200	192.5	3	123.64
		富山 泰旭	1995	岡山大学ウエイトトレーニング部	91.75	× 165	165	175	175.0	4	110.65
※Jr.日本記録											

第27回全日本ベンチプレス選手権大会記録表

F大会 2015年10月31日(土)、11月1日(日) 美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION											
No	階級	氏 名	生年	所 属	体重	I	Ⅱ	Ⅲ	記録	順位	フォーミュラー 記録
男子93kg級 マスターズ1											
	93kg級	新屋敷 弘明	1966	パワーハウス	86.85	192.5	202.5	215	215.0	1	139.86
		伊藤 禎浩	1969	個人	91.65	215	×222.5	×222.5	215.0	2	136.02
		小笠 剛志	1974	パワーハウス赤穂	91.8	200	212.5	×217.5	212.5	3	134.33
		竹村 明久	1973	個人	91.8	×205	×212.5	212.5	212.5	4	134.33
		小川 光寿	1971	竹田運輸倉庫㈱	92.4	190	205	212.5	212.5	5	133.90
		増山 雄一	1972	パワーハウス山口	87.05	×185	×185	×205			
		鮎谷 繁章	1967	スポーツジムB&F	91.4	×192.5	×192.5	×192.5			
男子93kg級 マスターズ2											
	93kg級	北川 武志	1958	K's GYM	84.5	200	205	×210	205.0	1	135.42
		小西 裕司	1965	パワーハウス	91.2	160	×170	×170	160.0	2	101.47
		村山 幸教	1963	個人	91.55	×190	×190	×190			
男子93kg級 マスターズ3											
	93kg級	飯島 修	1954	パワーハウス	89.9	200	205	×215.5	205.0	1	130.94
		渡辺 和利	1952	今治パワーリフティングクラブ	85.3	170	×175	×175	170.0	2	111.69
		石田 耕作	1955	パワーハウス	83.2	142.5	147.5	150	150.0	3	99.98
男子93kg級 マスターズ4											
	93kg級	河部 勝次	1942	コベルコトレーニングクラブ	92.5	150	157.5	×170	157.5	1	99.19
男子105kg級 一般											
	105kg級	佐藤 優輝	1983	K's GYM横浜	95.15	302.5	311	315.5	※ 315.5	1	196.11
		葛西 昌彦	1971	K's GYM	104.6	300	310	315	315.0	2	188.51
		武田 裕介	1985	TXP	104.4	270	280	285	285.0	3	170.65
		阿久津 貴史	1982	TXP	103.4	260	270	275	275.0	4	165.23
		山森 智行	1972	K's GYM	104.4	275	×282.5	×311.5	275.0	5	164.69
		橋本 到	1989	ノーリミッツ	103.9	252.5	267.5	×280	267.5	6	160.47
		柴田 道郎	1978	POWER LINE	105	255	×275	×277.5	255.0	7	152.40
		横山 恭平	1994	阪南大学ウエイトトレーニング部	104	215	×230	×230	215.0	8	128.91
		岩切 和広	1987	矢野パワージム	103.5	195	210	×220	210.0	9	126.16
		柏木 悠太郎	1997	春日部共栄高校	99.95	×200	×200	200	200.0	10	121.74
		松原 宏樹	1979	パワーハウス	98.75	×195	×195	×195			
※一般日本記録											
男子105kg級 SJr.											
	105kg級	柏木 悠太郎	1997	春日部共栄高校	99.95	×200	×200	200	200.0	1	121.74
		中根 健太	1997	パワーハウスつくば	103.6	175	180	195	195.0	2	117.10
男子105kg級 Jr.											
	105kg級	横山 恭平	1994	阪南大学ウエイトトレーニング部	104	215	×230	×230	215.0	1	128.91
		山口 明堯	1992	岡山商科大学ウエイトトレーニング部重和会	102.9	×175	180	×200	180.0	2	108.35

F大会 2015年10月31日(土)、11月1日(日)美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION											
No	階級	氏 名	生年	所 属	体重	I	Ⅱ	Ⅲ	記録	順位	フォーミュラー 記録
男子105kg級 マスターズ1											
	105kg級	葛西 昌彦	1971	K's GYM	104.6	300	310	315	※ 315.0	1	188.51
		山森 智行	1972	K's GYM	104.4	275	× 282.5	× 311.5	275.0	2	164.69
		伊藤 智	1966	K's GYM	104	235	× 240	× 275	235.0	3	140.90
		渡邊 薫	1967	スーパーパワーアサマトレーニングクラブ	97.1	205	× 210	× 210	205.0	4	126.29
		西古 裕志	1972	パワーライン	104.3	190	200	× 212.5	200.0	5	119.81
※M1日本記録											
男子105kg級 マスターズ2											
	105kg級	村中 悟	1964	高岡トレーニングクラブ	96.65	205	217.5	225	225.0	1	138.89
		中谷 幸市	1960	国士館高等学校	104.6	× 215	215	225	225.0	2	134.63
男子105kg級 マスターズ4											
	105kg級	長島 義孝	1944	個人	94.7	135	140	× 145.5	140.0	1	87.21
男子120kg級 一般											
	120kg級	上田 真司	1972	K's GYM	120	350	× 363	× 363	350.0	1	201.22
		和田 高平	1964	K's GYM	113.5	× 280	280	297.5	297.5	2	173.50
		後藤 衆治	1968	個人	108.5	× 275	275	× 295	275.0	3	162.53
		加瀬 智	1991	K's GYM横浜	110.9	210	220	230	230.0	4	135.02
		岡山 三紀	1972	北海道医療大学WTC同門会	109.7	× 227.5	227.5	× 252.5	227.5	5	133.99
		関口 和矢	1979	リアルスイング	118.5	× 200	200	210	210.0	6	121.11
		森 真人	1981	BIG GUNS	114.5	× 190	× 190	× 200			
		藤本 竜希	2000	リアルスイング	115.7	× 335	× 335	× 335			
男子120kg級 S Jr.											
	120kg級	藤本 竜希	2000	リアルスイング	115.7	× 335	× 335	× 335			
男子120kg級 Jr.											
	120kg級	佐野 誓建	1995	京都学園大学パワーリフティング部	106.2	185	200	× 217.5	200.0	1	119.04
男子120kg級 マスターズ1											
	120kg級	後藤 衆治	1968	個人	108.5	× 275	275	× 295	275.0	1	162.53
		岡山 三紀	1972	北海道医療大学WTC同門会	109.7	× 227.5	227.5	× 252.5	227.5	2	133.99
男子120kg級 マスターズ2											
	120kg級	和田 高平	1964	K's GYM	113.5	× 280	280	297.5	※ 297.5	1	173.50
		鷲住 松男	1959	POWER BOMB! GYM	111.6	160	× 170	× 170	160.0	2	93.76
※M2日本記録											

第27回全日本ベンチプレス選手権大会記録表

F大会 2015年10月31日(土)、11月1日(日) 美濃加茂市中央体育館プラザちゅうたい



JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION

JAPAN POWERLIFTING ASSOCIATION

No	階級	氏 名	生年	所 属	体重	I	Ⅱ	Ⅲ	記録	順位	フォーミュラ 記録
男子120kg超級 一般											
	+120kg級	原 新一	1973	パワーライン	121.9	295	310	× 350	310.0	1	177.59
		柳川 大貴	1976	リアルスイング	127.6	× 310	310	× 327.5	310.0	2	175.94
		斉藤 大生	1990	個人	152.9	305	× 325	× 325	305.0	3	168.30
		古城 資久	1958	パワーハウス赤穂	126.7	250	280	× 290	280.0	4	159.13
		江添 和昭	1975	パワーハウス	158.5	260	270	× 282.5	270.0	5	148.22
		梶井 俊宏	1980	阪南大学OB会ウエイトトレーニング部	120.1	× 340	× 340	× 340			
		福島 康人	1965	パワーハウス山口	141.1	× 230	× 230	× 230			
男子120kg級 マスターズ2											
	+120kg級	古城 資久	1958	パワーハウス赤穂	126.7	250	280	× 290	※ 280.0	1	159.13
		福島 康人	1965	パワーハウス山口	141.1	× 230	× 230	× 230			
※M2日本記録											

女子優秀選手 女子47kg級 福島 友佳子 選手 (東京都 パワーハウス)
 男子優秀選手 男子83kg級 福島 勇輝 選手 (静岡県 F.T.GYM)
 最優秀選手 男子83kg級 福島 勇輝 選手 (静岡県 F.T.GYM)

以上報告致します。 2015年11月2日 岐阜県パワーリフティング協会 理事長 九野 毅